

講義名：世界市民－世界における憲法の諸相　＜春＞		ナンバリングコード：0			
担当教員名：田中　祥貴					
研究室：聖アンデレ館8階808号室		オフィスアワー：水曜日3限			
メールアドレス：					
授業形態					
『講義』					
講義・演習概要					
世界における憲法の諸相を概観します。日本の法を学ぶのに、なぜ外国の法を学ぶ必要があるのか、疑問に感じる人もいるでしょう。しかし、ある法の解釈を試みるとき、その対象となる事象を国内的視点からのみ考察したのでは、その議論に発展性は期待できません。現在、我々は、グローバリズムの潮流の中にあり、人・物・金・情報が瞬時に国境を越えて行き交う時代を生きています。法律も例外ではありません。世界各国の法律は、相互に影響を与え合いながら、自らの体系を形成し、発展してきました。とりわけ、日本法は、欧米諸国の法制度に多大な影響を受けて発展してきました。かかる文脈から、外国法を学ぶことは、日本法を体系的に理解する上でも非常に重要といえます。また、比較法的視点を通じてはじめて、現在の日本法が抱える問題点が見えてくることもあります。さらに、比較法研究が、その課題を克服する方向性をも示唆してくれるでしょう。すなわち、たとえ日本法の解釈・運用であろうとも、今後、日本法をさらに発展させるためには、最新の外国法研究を通じて、複眼的に日本法を考察する必要があります。そうした過程の中にこそ、この国のあるべき法の解釈・運用の方向性が見えてくるはずです。ぜひ、日本法の解釈にも、国際的・多角的な視点を取り入れられるよう、それに必要な素養をこの授業を通して身につけてください。					
学習目標					
1. 諸外国の憲法に関する基本理念、原理・原則、用語を理解し、自分の言葉で説明できる。 2. 比較法の視点に基づき、多角的・国際的な思考判断ができる。 3. 外国法に関心を抱きながら、比較法的視点から、国内の様々な社会問題を考察する意欲を有する。					
講義・演習計画					
【第1回】ガイダンス					
【第2回】アメリカ憲法総論					
【第3回】アメリカの統治（大統領制）					
【第4回】アメリカの司法（陪審制）					
【第5回】人権の保障（総論）					
【第6回】人種と平等					
【第7回】表現の自由					
【第8回】信仰の自由					
【第9回】イギリス憲法総論					
【第10回】イギリスの統治と人権					
【第11回】フランス憲法総論					
【第12回】フランスの統治と人権					
【第13回】ドイツ憲法総論					
【第14回】ドイツの統治と人権					
【第15回】総括					
成績評価の方法					
試験	100%	レポート	0%	出席	0%
コメント	皆さんが比較法の基礎知識を習得し、さらに、さまざまな国内の法事象について多角的・国際的に考察できる判断枠組が身についているかを評価します。 期末試験 100%　レポート 0%　出席： 0% 備考 出席することは当然ですので、出席したことを理由に加点はしません。ただし、いかなる事情があっても、全授業日の3分の1を超えて欠席した場合は単位認定しませんので、注意してください。				
テキスト					
著書	初宿正典、辻村みよ子	タイトル	解説　世界憲法集		
ISBN	978-4-385-31304-7	出版社	三省堂		
教科書購入区分	生協購入	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
著書		タイトル			
ISBN		出版社			
教科書購入区分	選択なし	備考			
参考文献					
田中英夫『英米法総論（上・下）』（東京大学出版会）、松井茂紀『アメリカ憲法入門』（有斐閣）、ハンス・ペーター・マチュルケ（村上淳一訳）『ドイツ法入門』（有斐閣）、滝沢正『フランス法』（三省堂）、戒能通厚『現代イギリス法事典』（新世社）ほか					
事前および事後学習の指示　（事前学習　30　時間　・事後学習　30　時間）					
授業時間内に指示します。					
その他備考（担当教員用）					
キーワード					
備考（管理者用）					